

子どものいろいろ 大切に

見つけよう！子どもの個性 広げよう！子どもの可能性—みんなで考える男女平等参画—

活用の手引き

〈保護者・保育者の方へ〉

未来を担う子どもたちは、誰もがかけがえのない大切な存在です。一人ひとりの子どもたちは「自分らしさ」という“たからもの”を持っています。

乳幼児期の子どもが生活する家庭や園のさまざまな場面が子どもたちの成長に影響します。

保護者・保育者自身の考える「男らしさ」や「女らしさ」を押しつけることなく、幼い頃から『性別にとらわれない生き方』や『個性や能力を伸ばし、可能性を拓げる生き方』を伝えていただくために、日常生活のさまざまなシーンをとらえたイラストにメッセージを込めて、この男女平等参画啓発資料を作成いたしました。ぜひご活用ください。

1 家族のかたちはいろいろ

「子どもの個性は多くの眼で見つけていこう」

お母さんと子どもの家族、お父さんと子どもの家族、おじいさんやおばあさんと子どもの家族、離れて暮らす家族など、いろいろな家族のかたちがあります。

子どもに関わるまわりの人々の多くの眼で、子どもの個性を見つけて伸ばしていきましょう。

2 体を動かすのは気持ちがいいね

「男の子も女の子も元気いっぱい！」

子どもは体を動かして遊ぶことが好きです。

「女の子はおしとやかに」「男の子は外で元気に」と性別によって決めるのではなく、男の子でも女の子でも子ども自身がイキイキと体を動かすのを見守りましょう。

3 子どもの想像力は無限大

「性別にかかわらず何にでも変身できます」

男の子・女の子にかかわらず、ごっこ遊びや想像力を活かした遊びが大好きです。

子どもたちが想像力を膨らませて楽しむのを見守りましょう。

4 大きくなったら何になる？

「好きなこと、いろいろな出会いによって子どもの職業イメージは広がります」

子どもたちは、自分の好きなことやまわりの人々との出会い・体験などによって、将来なりたいイメージを持つようになります。

男の子・女の子の性別にかかわらず、その子の「大きくなったら〇〇になりたいという気持ち」を尊重しましょう。

5 自分で決める！ 好きな色・好きな遊び

「子どもの選択を尊重しましょう」

子どもたちにも自分の好みがあります。

服や身につけるものを、「男の子だから」「女の子だから」と決めたり、子どもの遊びやおもちゃを性別によって決めるのではなく、その子ども自身が好きな色や遊びを選択することを尊重しましょう。

6 いろいろなことに挑戦しよう！

「子どものチャレンジしたい気持ちを尊重しましょう」

いろいろなことにチャレンジしたい気持ちを持つ子どもや、勇気が出なくてためらう子ども、上手いかなくてもあきらめずに再チャレンジする子ども、いろいろな子どもがいます。

「おもしろそう！」「やってみたいけど、ちょっと怖い」「もう一回やってみよう」などと思う気持ちを応援しましょう。

7 お家の仕事はみんなでやろう！ できることをたくさん増やそう！

「親や身近な大人を見て子どもは育ちます」

子どもはまわりの人々の行動を見て、自分も同じことをしたがります。

男の子・女の子にかかわらず、幼いうちからその子どもにできることを少しずつ増やしていきましょう。

